

仲道郁代さんと 【音楽を考えよう、語ろう、味わおう】



©Taku Miyamoto

講師

ピアニスト

仲道 郁代

Ikuyo Nakamichi

【ハイブリッド】丸の内キャンパス、オンライン(Zoom)いずれでも参加可能です。ご希望は事前にお伺いします。
今後の状況によって【オンラインのみ】に開催形態を変更する場合があります。

いま、あらためて音楽に向き合う

私たち音楽を愛する人たちは、コロナパンデミックによりそれまで意識していなかった問いを突きつけられました。音楽とはなにか。演奏することとは、聴くこととはなにか。音楽はなぜ存在し、そしてどうあるべきなのか。

私は、音楽とは、作曲家が音に託したいと思うこと、奏でる者が伝えたいと思うこと、聴く人たちが受け止めたいと思うこと、それらが重なり合うところに成り立つものであると考えます。

この講座では、音楽と人の関わりや人が音楽に何を見出しているのかを各界の先生方、そして皆さまと一緒に多角的に考察してみたいと思います。そして音楽の魅力をもっと深く、より豊かに、皆さまと味わうことができればと願っています。

仲道 郁代

12・14 | 火
18:30-21:30

いま、わたし、音楽を語る

1

リサイタルを開催できなかった間、音楽にひとり向き合いました。1年を経てステージに立ち、再び演奏したとき、それまで経験したことのない強い感情がわき上がりました。その時私が感じたこと、いま考えていること、この講座に込めた思いをお話します。

3・22 | 火
18:30-21:30

楽譜を読む、
音楽を解釈するとは

4

ベートーヴェンのピアノ・ソナタ第17番「テンペスト」を中心に据えた、2022年春のリサイタル「知の泉」演奏曲を題材に、音楽評論家でベートーヴェン研究の第一人者平野先生をお迎えして、研究者と演奏者、両方の観点から作品や楽譜の解釈をこころみ、議論したいと思います。

【ゲスト】平野 昭(音楽評論家)

1・11 | 火
18:30-21:30

人類にとって音楽とは何か

2

人類にとって音楽とはなにか。そんな大きな問いから始めてみたいと思います。人類学者の長谷川真理子先生をお迎えして、人間と音楽のあゆみ、感情や心と音楽の関わり、クラシック音楽が現代の人間に対して持ちうる可能性などについて考えてみたいと思います。

【ゲスト】長谷川真理子(総合研究大学院大学学長、人類学者)

4・10 | 火
18:30-21:30

作曲家との対話、
音楽の表現に迫る

5

演奏家は作曲家や作品と対話すると言われる。ではどのように対話するのでしょうか。作品たちへどんなアプローチを行うのか、「知の泉」演奏曲を具体例として、アナリーゼ(楽曲分析)を含めた解釈論を展開したいと思います。

5月29日(日)リサイタル「知の泉」(サントリーホール・14時開演)

2・21 | 月
18:30-21:30

芸術はなぜ、そしてどう、
生まれるのか

3

芸術はどう生まれるのでしょうか。楽器の発展とともにピアノ音楽が華やかに生まれた18世紀後半、ヨーロッパ社会は近代の始まりを迎えていました。文学者の糸川先生をお迎えし、人間の精神と芸術について、また、シューマンとホフマン、ベートーヴェンとシラーといった音楽と文学の関わりについて語り合ってみたいと思います。

【ゲスト】糸川麻里生(慶應義塾大学文学部教授、ドイツ文学者)

6・1 | 水
18:30-21:30

音楽を感じる、楽しむ、
語り合う

6

作曲家が音に託したいと思うこと、奏でる者が伝えたいと思うこと、聴く人たちが受け止めたいと思うこと、それらが重なり合うところに成り立つものであると私は考えます。講座全体とリサイタルを振り返りながら、皆さんと一緒に感想や思いをおおいに語り合い、音楽とはなにか、向き合ってみたいと思います。

音楽を多角的に考察する


人類学や文学といった異分野の研究者と音楽について考えます。その過程で発見したこと、感じたこと、疑問を持ったことなど皆さまと対話をしながら進めます。

リサイタル鑑賞

仲道郁代さんのリサイタル「知の泉」を鑑賞し、感想を語り合います。(オブション・希望者対象)

対象公演：2022/5/29(日) サントリーホール 14 時開演

開催概要

日程	2021年 12/14(火)、2022年 1/11(火)、2/21(月)、3/22(火)、5/10(火)、6/1(水) 【希望者オブション】5/29(日)14:00開演 仲道郁代リサイタル「知の泉」(サントリーホール)
開催形態	ハイブリッド(丸の内キャンパス・オンライン)
回数	6回
時間	18:30-21:30 (3時間)
定員	25名
会場	丸の内キャンパス、オンライン(Zoom)
参加費	110,000円(税込)
おすすめしたい方	・クラシック音楽やピアノの理解を深め、魅力をより深く楽しみたい方 ・仲道郁代さんの感性や音楽表現の世界を間近に触れたい方
申込み	http://www.sekigaku-agera.net/ 

講師プロフィール

仲道 郁代(なかもち いくよ)

桐朋学園大学1年在学中に第51回日本音楽コンクール第1位、増沢賞を受賞。ジュネーヴ国際音楽コンクール最高位、メンデルスゾーン・コンクール第1位、エリザベート王妃国際音楽コンクール入賞。これまでに、マゼール指揮ピッツバーク交響楽団、バイエルン放送交響楽団、フィルハーモニア管弦楽団、ズッカーマン指揮イギリス室内管弦楽団(ECO)、フリーベック・デ・ブルゴス指揮ベルリン放送交響楽団、P.ヤルヴィ指揮ドイツ・カンマーフィルハーモニー管弦楽団など海外オーケストラとも多数共演。2005年にはウィンザー城にてイギリス室内管弦楽団主催のチャールズ皇太子夫妻臨席の「結婚祝祭コンサート」に出演。

CDはソニー・ミュージックジャパンと専属契約を結び、レコード・アカデミー賞受賞を含む「仲道郁代ベートーヴェン集成～ピアノ・ソナタ&協奏曲全集」他、「モーツァルト：ピアノ・ソナタ全集」「シューマン：ファンタジー」「ドビュッシーの見たもの」等をリリース。著書に『ピアニストはおもしろい』(春秋社)等がある。

2018年よりベートーヴェン没後200周年の2027年に向けて「仲道郁代The Road to 2027プロジェクト」をスタートし、リサイタルシリーズを展開中。一般社団法人音楽がヒラク未来代表理事、一般財団法人地域創造理事、桐朋学園大学教授、大阪音楽大学特任教授。

講座の開催方法およびキャンパスにお越しになる皆様へのお願い

本講座は【ハイブリッド】形態で開催いたします。ただし今後の状況により【オンラインのみ】に開催形態を変更する場合があります。お申し込みにあたっては、下記開催形態およびキャンパスへお越しになる皆様へのお願いをご確認の上、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

【ハイブリッド】



丸の内キャンパスで

どちらも可能

自宅からオンラインで



ハイブリッド開催形態について

- ・丸の内キャンパス、オンライン(Zoom)いずれでも参加可能です。
- ・参加方法は毎回選択していただけます。ご希望は開催前にお伺いします。
- ・全回オンラインで参加される方は、お申込時の「備考欄」に「オンライン参加」とご記載ください。優先的に受付いたします。

オンライン参加について

- ・オンライン会議システム Zoom を使って配信します。
- ・パソコン(またはスマートフォン、タブレット)およびインターネット環境があれば、どこからでもご参加いただけます。
- ・Zoom を初めてご利用の方には操作方法をサポートいたします。

キャンパスにお越しになる皆様へのお願い

- ・事前に体調を確認の上お越しください。発熱、咳などの症状、体調不良、また過去2週間以内に感染が引き続き拡大している国や地域に訪問歴がある場合はご来場をお控えください。
- ・マスクの着用をお願いいたします。
- ・手洗いや備え付けの消毒液のご使用、咳エチケットのご協力をお願いいたします。

会場の感染予防措置

- ・講師およびスタッフのマスク着用、手指消毒、体調管理の徹底
- ・教室共用部分の清掃、消毒(机、椅子背もたれ、ドアノブ等)
- ・アルコール消毒液と清浄綿の設置
- ・可能な限り間隔を開けた座席配置
- ・常時空調換気と適宜教室扉の開放換気
- ・喫煙ルームの閉鎖

お問い合わせ 東京都千代田区丸の内2-5-2 三菱ビル10階 株式会社慶應学術事業会
TEL:03-5220-3111 info@keiomcc.com



今後の状況によっては対応施策が変更となる場合がございます。ご理解とご協力のほど、何卒よろしくお願いいたします。